

第106回 獣医学セミナー

嚢胞性線維症膜コンダクタンス制御因子
の機能不全からみる犬の胆嚢粘液嚢腫

馬場健司 先生
(獣医内科学研究室)

2026年 4月 28日 (火) 16:30-17:30

iCOVER1階 101

犬の胆嚢粘液嚢腫は、粘度の高い胆汁が胆嚢に蓄積する疾患である。本疾患が認知されてから20年以上が経つが未だ原因や病態は解明されていない。しかし近年、陰イオンチャネルである嚢胞性線維症膜コンダクタンス制御因子 (CFTR) の機能不全が本疾患の病態に関与していることが示唆されつつある。ヒトではCFTRの遺伝子変異を原因とする嚢胞性線維症が古くから知られているほか、近年では獲得性のCFTR機能不全が慢性閉塞性肺疾患の病態に関与することも示唆されている。本セミナーでは、これまでに我々が得た知見も交えてCFTRの機能不全という観点から犬の胆嚢粘液嚢腫の病態についてお話しするとともに、ヒトの関連疾患との相違についても考察したい。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：吉寄 (5890)、Alice L. C. (5855)

